

# 県営住宅整備と合わせて余剰地の民間活用の一体型PFI事業(広島県)

## (1)事業概要

県営住宅用地として、当該民有地を県が買い取り(平成3～6年)、PFI事業の導入可能性調査を平成13年に実施。その結果、PFI事業としての実施の可能性が確認され、県営住宅を整備しても余剰地が発生する可能性が高く、民間活力による地域との調和が図られた事業提案を期待できることが明らかとなった。

整備の概要は、県営住宅を核とした住宅市街地の整備と合わせて、民間の優れた企画力・技術力を活用し、民間施設との一体的整備を実施することによって、効率的な整備および管理を目指した県営住宅の供給を実現する。

## (2)特徴・ポイント

- ・広島県で初めてのPFI法に基づくPFI事業
- ・公営住宅法上で実施する初めてのPFI事業
- ・PFI法に基づく県営住宅の整備、宅地造成、余剰地活用の民間事業者募集等、総合的なPPP事業として展開

## ■事業の主な内容

(出典)内閣府PFI推進室HP 事例調査資料、国土交通省HP

項目	内容
事業名	県営上安住宅整備事業
発注者	広島県
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区全体の土地利用計画</li> <li>・宅地造成工事</li> <li>・県営住宅第1期分の建設(110戸)★</li> <li>・県営住宅の維持・管理★</li> <li>・余剰地部分の民間活用</li> </ul> 上記のうち、★が特定事業として選定
事業方式	PFI-BTO
選定事業者	代表構成員:三井物産株式会社中国支社 構成員:合同産業株式会社、社会福祉法人慈光会、株式会社フタバ図書、株式会社フジタ広島支店(価格・提案内容等を総合的に評価。4者応募)

契約金額

約11.6億円(税抜)



## 対象団地

場所:広島市安佐南区上安二丁目、高取北一丁目  
 計画敷地:約3.9ヘクタール  
 上安地区の現状航空写真【平成14年6月撮影】

